

政務活動費出金票

出金日	平成 29 年 11 月 25 日
項目	1 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘要	旅費
金額	18,000 円

支出内訳

JTB. 北方領土返還要求運動参加.

株式会社 JTB中部

領 収 証

No 02002405988-01-76
2017 年 11 月 25 日

越川 隆文 様
下記の金額正に領収いたしました

¥ 18,000 円

但し 11月30日 JR乗車券代金として

ご入金
内 訳

2017/11/25 クレジット ¥18,000

¥0

出納責任者

富山支店

取扱者

076-441-1311

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。
④3015016

R 013909
お客様用

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

越川隆文
氏 名 _____

承	会派会長印	経理責任者印
際		

政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	平成 29 年 11 月 30 日
項 目	1 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘 用	旅費
金 額	800 円

支出内訳

富山地方鉄道
 北方領土返還要求中央PC-11行動等

領 収 書	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">領 収 証</td> <td style="text-align: right;">様 No.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 1.2em;">越 川 隆 文</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">★ 800円也</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">内 訳 _____</td> <td style="width: 50%;">但 乗車券代</td> </tr> <tr> <td>現 金 _____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小切手 _____ /</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手 形 _____ /</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費税額等(%) _____</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> 29年11月30日 上記正に領収いたしました <div style="text-align: right;"> 富山地方鉄道株式会社 鉄軌道部営業課 </div> </td> </tr> </table>	領 収 証	様 No.	越 川 隆 文		★ 800円也		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">内 訳 _____</td> <td style="width: 50%;">但 乗車券代</td> </tr> <tr> <td>現 金 _____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小切手 _____ /</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手 形 _____ /</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費税額等(%) _____</td> <td></td> </tr> </table>	内 訳 _____	但 乗車券代	現 金 _____		小切手 _____ /		手 形 _____ /		消費税額等(%) _____		29年11月30日 上記正に領収いたしました <div style="text-align: right;"> 富山地方鉄道株式会社 鉄軌道部営業課 </div>
領 収 証	様 No.																		
越 川 隆 文																			
★ 800円也																			
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">内 訳 _____</td> <td style="width: 50%;">但 乗車券代</td> </tr> <tr> <td>現 金 _____</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小切手 _____ /</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手 形 _____ /</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費税額等(%) _____</td> <td></td> </tr> </table>	内 訳 _____	但 乗車券代	現 金 _____		小切手 _____ /		手 形 _____ /		消費税額等(%) _____		29年11月30日 上記正に領収いたしました <div style="text-align: right;"> 富山地方鉄道株式会社 鉄軌道部営業課 </div>								
内 訳 _____	但 乗車券代																		
現 金 _____																			
小切手 _____ /																			
手 形 _____ /																			
消費税額等(%) _____																			

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏 名 越川隆文

承	会派会長印	経理責任者印
認		

政務活動費旅費計算書



会派名 越川隆文

金額 18,800 円

(1人あたり) 18,800 円)

用務	北方領土返還運動・視察研修ツアー					
旅行先	東京物産交流情報カーニバル 日比谷公園					
旅行期間	平成29年11月30日～平成29年12月1日(泊2日)					
種別	区間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合計
鉄道賃	自 <u>新大塚</u> 駅	至 <u>東京</u> 駅	円	円	円	18,000 円
	自 <u>有明</u> 駅	至 <u>新大塚</u> 駅	円	円	円	800 円
	自 駅	至 駅	円	円	円	円
	自 駅	至 駅	円	円	円	円
	自 駅	至 駅	円	円	円	円
車賃	区間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合計
	自	至	円	円	円	円
宿泊料	泊分					円
その他(駐車料金等)	(内訳)					円
備考	1. 首都圏往復フリー切符 2. 地鉄往復切符					
合計						18,800 円

旅行議員氏名 越川隆文

承認印	
会派会長	経理責任者
	

平成29年12月4日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 越川隆文

議員氏名 越川隆文



以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	29年11月29日 ~ 29年12月1日
調査研究、研修、要請・陳情活動先	移住・交流情報ガーデン及び内閣府北方領土政策研修と北方領土返還要求アピール行進
参加者	越川隆文
目的	東京から魚津への移住促進のためポイントを学ぶ・また北方領土返還運動の理解を深め実際に返還要求アピール行進に参加する
調査研究、研修、要請・陳情活動内容	<p>視察研修報告書は添付をご参照願います。</p> <p>○移住交流情報センター 東京からの移住希望者に働きかけるために積極的に活用すべきだ。現状では魚津市の知名度が低く、まだ土俵に上がっていない感じだ。まずはともかくも知名度を上げないことには始まらない。マスコミを活用し、基本的にただで宣伝してくれるように先手先手で仕掛けていく必要がある。</p> <p>なーん、なにもないちゃではなく、とにかく一度来てくださいの心意気が必要だ。自分に自信を持たない限り、人は移住してくれることはないだろう。</p> <p>○内閣府北方対策本部視察研修</p> <p>交流事業は長年継続されており、これは維持されることに意義があるが、全国民から見ればはたしてどれだけの割合と影響力があるだろうか。経済交流にしても、現状の管轄自治体である根室市があれだけ疲弊しているままに放置していることは疑問だ。</p> <p>翌日の北方領土返還要求アピール行進は日比谷公園から鍛冶橋交差点までだが、以前よりも短縮された感じだ。大会本部の方々の心中やいかに。</p> <p>共同経済活動にしても、露西亜の管轄権を認めることにならないか。露西亜にとっては渡りに船であろうが、実を生むには相当の困難を伴うだろう。日米安保の見直しをして早期に露西亜と平和条約を締結する以外に返還の道はない。</p>

訪問先： 移住交流情報ガーデン

日時：2017年11月30日（木）午後1時より午後2時まで

住所：東京都中央区1丁目1-6 越前屋ビル1F

説明者：一般財団法人地域活性化センター

総務企画部企画・コンサルタント業務課

副参事 川上篤氏

同振興部地域支援業務課

副参事 坂井洋介氏

総務省の研究会から発足。出向者は6名から10名で構成2年任期
会員制の組織で自治体会員と法人会員。自治体は78.5%のカバー率
富山県は100%会員。東京名古屋大坂は低い。地域限定と法人会員がある。

活動概要

地方移住希望者と自治体、法人とのマッチング事業

その為の情報発信、マッチング支援、調査研究普及自治体の事業支援を行う。

WEBによる情報発信・日本移住交流ナビ・地域起こし協力隊のマッチング

フェイスブックでJOINというサイトを運営し、IDとパスで自治体が独自に発信できる。

95万PVいいねが、4462。東京ビックサイトでフェア開催来場者数は2017年8591人

日本最大級の移住交流フェアでそのうち2282件の相談があった。

住宅探し、子育て就職生活インフラ整備などを通して、そのうち交流がはじまったのが、476
名、移住したのが、37名

自治体会員と法人会委員のコラボ事業に対する助成・事例としては山形県の鮭川村と日本
生命の森の事業。自主調査データの公開を行なっている。

移住の際に気になることは、来場の70%が20代から40代。そのうち40%が1年から3年
内に移住したいという意向を持つ。

移住体験ツアー・交通費は自己負担で支援金は2万円。移住につながったケースもある。

助成金は、中山間地で新築に対して100万円など。

東京在住者の4割が地方移住を考えている。

有楽町にふるさと回帰支援センターがあり、ある程度移住の方向が具体的になってきたら、こ
の有楽町のセンターに案内することもある。

より具体的な移住情報が大切である。先輩移住者の情報などが決め手になる。対話型の参加

方法がいい。何回もくりかえし情報提供が必要である。

地域ごとの課題を個別に解決していくのが地域おこし協力隊の役割である。7割の隊員が出身地と違うところで活動している。地域おこし協力隊サポートデスクの活用を推進中。

企業の就職説明会にも使えるし、移住関連での会議開催ではこの JOIN を活用してほしい。土日は流しの人を捕まえようとしても難しく、事前の告知が必要である。好意的な移住相談会にするときは、ここは使い勝手がいいかもしれない。

島根県はなぜ人気があるのか。連絡先をつかんでいる。アフタフォローがいい。鳥取島根高知は先行して取り組んできている。イメージだけでは季節要因が問題になってくる。知名度の問題を富山県、魚津市はどうクリアするか。

長野は長野県内で移住者の取り合いになるくらいだが、徹底した PR イベントをしている。イベントを移住につながっているかと言うデータは取りにくい。イベントの費用対効果をどのように評価するかは難しい。

サラリーマンは地方への移住を求めるのは自然と環境である。鳥取の智頭町の森の幼稚園。夏に東京で幼稚園の入園説明会をする。

移住の目的に明確なものがあればいい、いわゆるマーケティングである。方法論は先行事例に、学ぶことであろうが、ウツボのタタキが食べれますなど具体的な PR など、いろいろと工夫するところはあるが、特化する事がマーケティングだ。

仕事の相談は、東京で仕事先が見つからないという人や、何かをしたいから、という人がいるが、食える職業でないと継続は難しいです。

人集め。これがないとイベントを打ってもダメ。ここは夜の 9 時までやっているのでお気軽にご利用ください。ちょっとした会議などもできるようになっております。

内閣府北方対策本部研修報告書
2017年11月30日(木)

日時： 2017年11月30日(木) 午後3時

訪問先：内閣府北方対策本部 (東京都中央合同庁舎第4号館)

説明者：参事官 斉藤馨氏



(写真は翌日の北方領土返還要求アピールのもの)

四島との交流事業 墓参りなど 身体的負担軽減を図る必要がある。

平均年齢が82歳を超えている。

4本柱で外交交渉に絡めていく。日露両者で北方領土の未来について語っていきこうではないか。経済活動で実績を積み上げればその重要性に気がつくという考え方。

根室港から国後島の古釜布で手続きをしなければならなかったが、相当遠回りになる。往復すると7、8時間がかかるので、航空機を使った墓参を行った。9月に行った。

当初の計画では日帰りであったが、濃霧のためにそれができなかった。

来週にも具体的な経済活動の提案を行うところだ。

日露外相会談

共同経済活動に関しては、観光ツアーのインフラ整備がまだできていない。養殖施設は季節がある。春になったらやろうという話になっている。これと北方領土問題とどんな関係があるのだという質問を受けるが、これまで以上に双方が知恵を出し合って具体化していくというプロセスを重視している。

北方領土問題対策協会

ビザなしだが自由訪問はどこでも自由に行けるわけではない。

融資事業

後継者の活動支援

財政的に支援すること

次世代啓発注意喚起を促進したい。四等交流事業の促進が必要
共同経済活動が進展すれば、人の交流が起きるだろう。そうすると根室など地元の人たちではロシア人には太刀打ちできないだろう。モスクワとかの企業との交易となるだろうから。隣接地域の人口についても力を入れなければならない。隣接地域に人をたくさん呼び入れる。

地元の1市4町の学校に依頼しているのだが、なかなかその予算が消化されない。道東だけでは魅力がないので、実際に修学旅行に来てくれない。日本全国の修学旅行を呼び込みたい。

次世代の教育について、北方領土の啓発施設、本土にはあるのか？根室にある施設のリニューアルのことか？違うだろう。黒部市にも資料がある。この施設をどうすればいいのか。お時間あれば是非来てください。

記念館を作っていただきたい。と県議会で要望したら、知事は、資料を揃えてからの回答だった。どうゆう要望をすればいいのか。100億円ある。基金を取り崩そうという動きがある。北海道庁知事を尋ねたら、5億円ぐらいのものになりそうだと。運用益が少ないので、という要因があるのでもあるが、それは道のお金で地元のものである。

以上

2017年11月視察研修スケジュール

日程：11月30日（木）～12月1日（金）

行き先：

- ・移住・交流情報ガーデン
（東京都中央区京橋1丁目1-6 越前屋ビル1F）
- ・内閣府北方対策本部
（東京都・中央合同庁舎第4号館）
- ・北方領土返還要求中央アピール行動
（東京都・日比谷公園野外音楽堂）

11月30日（木）

時刻	スケジュール
9:00	黒部宇奈月温泉駅発
11:40	東京駅着
13:00	研修
14:00	◆移住・交流情報ガーデン 東京都中央区京橋1丁目1-6 越前屋ビル1F
	東京メトロ 丸の内線 東京駅→国会議事堂前駅
15:00	研修
16:00	◆内閣府北方対策本部 東京都・中央合同庁舎第4号館
17:00	ホテルチェックイン
	◆銀座グランドホテル 東京都中央区 銀座8丁目6-15
	◆スーパーホテル Lohas 東京駅八重洲中央口 東京都中央区八重洲2丁目2-7
18:30	黒部・根室市議会交流会
	◆新橋亭 新館 東京都港区新橋2丁目4-2

12月1日（金）

9:00	ホテルチェックアウト
10:00	北方領土返還要求中央アピール行動
12:30	◆日比谷公園野外音楽堂 東京都千代田区日比谷公園1-5
14:24	東京駅発
16:44	黒部宇奈月温泉駅着

北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」概要

1. 主催

北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会

(構成団体：根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町)

2. 目的

1945年12月1日、当時の安藤石典根室町長が連合軍最高司令官マッカーサー元帥に対し、北方領土の返還を求める陳情書を提出した歴史的経緯にちなみ、この12月1日を「北方領土返還運動のはじまり」の日と位置付け、日本の中心である東京において、北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、北方領土返還要求アピール行進を実施する。

3. 開催日時及び場所

①日時

平成29年12月1日(金) 10時30分～12時10分

②場所

出発式：日比谷大音楽堂(東京都千代田区日比谷公園1-5)

行進コース：日比谷大音楽堂西幸門⇒銀座外堀通り⇒鍛冶橋交差点

●受付開始 10時00分～ 正面入口 3ページ図面

●出発式 10時30分～ 一般参加者席 3ページ図面

●整列 11時15分～ 公園内西幸門歩道 3ページ図面

●行進出発 11時30分～

●行進終了 12時15分

4. 詳細

① 受付について(日比谷大音楽堂)

○事前に配布しております入場整理券に団体名と氏名を記載の上、受付に提出してください。

○旗手を務める方は、県旗を受け取ってください。

※一部の参加者に、手旗、横断幕を持っていただきますのでご協力をお願いいたします。

② 出発式会場の配置について(3P図面)

●旗手席 一般参加者席の最後方の席となり、下記の順番でお並びいただきますようお願いいたします。

図面右からの順

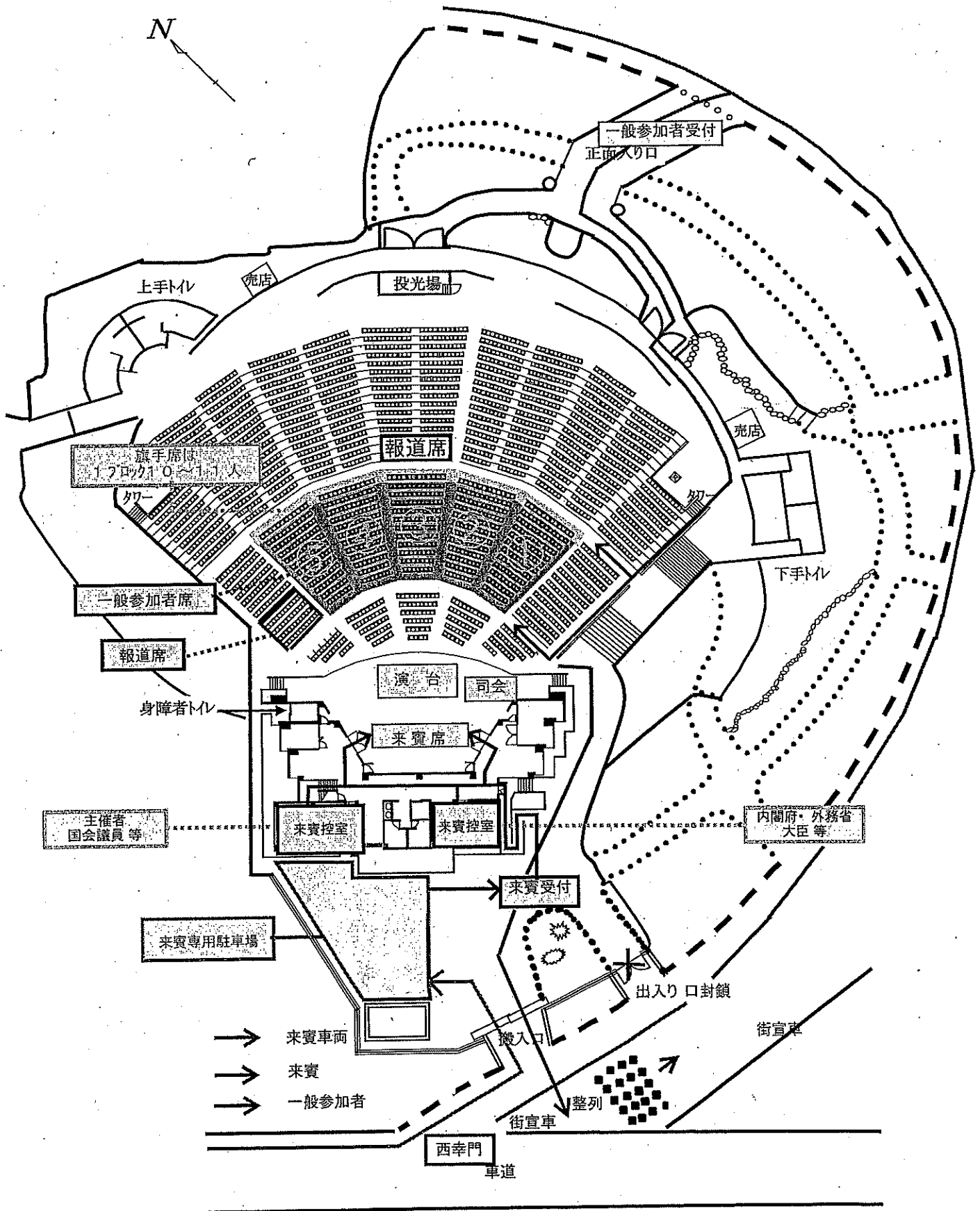
【一般参加者席 ①】

根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県

1

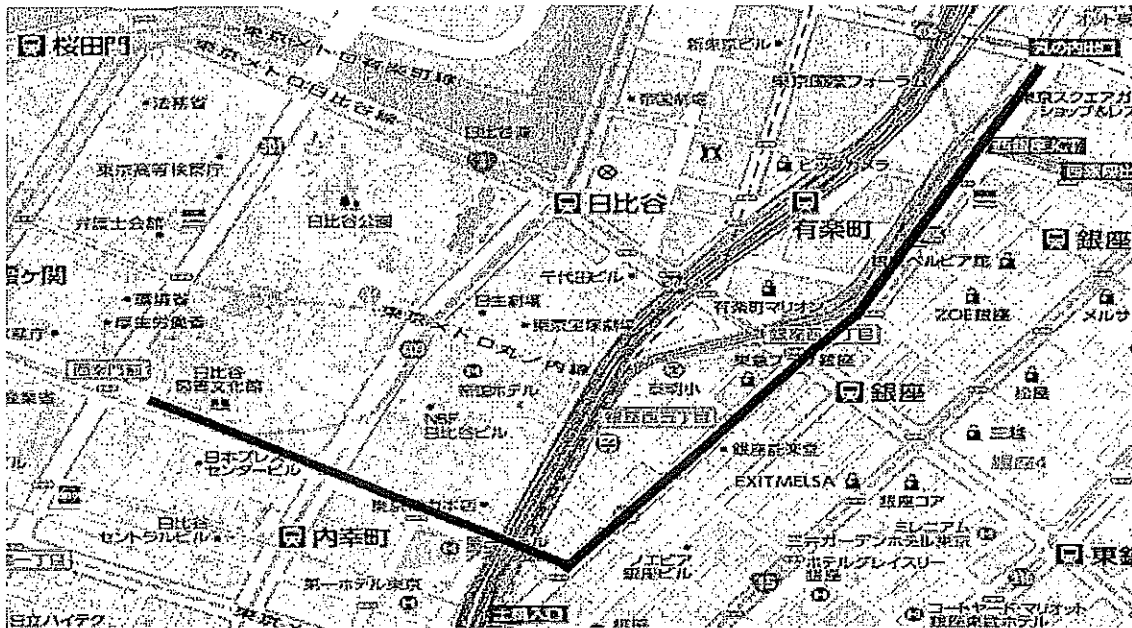
【一般参加者席 ②】

日比谷公園大音楽堂



⑤ 行進コース

日比谷公園⇒鍛冶橋交差点 約1.6キロ



⑥ 解散について

終点の「鍛冶橋交差点」に到着後、街宣車は交差点を左折し、車道左側で停車。行進参加者は、交差点付近の歩道でタスキ等の備品を回収した後、順次流れ解散となる。【第2隊列も同様】

【回収備品】 タスキ、プラカード、横断幕、都道府県旗及びポール等

